

「～あいだ／～あいだに」と「～うち／～うちに」のい

PDF转换可能丢失图片或格式，建议阅读原文

[https://www.100test.com/kao\\_ti2020/147/2021\\_2022\\_\\_E3\\_80\\_8C\\_EF\\_BD\\_9E\\_E3\\_81\\_82\\_E3\\_c105\\_147524.htm](https://www.100test.com/kao_ti2020/147/2021_2022__E3_80_8C_EF_BD_9E_E3_81_82_E3_c105_147524.htm)

「うち」も「あいだ」もともに、前後が限定された（「うち」の合は「前」が限定されていない合も考えられますが）を指すという意味では共通しています。このを考えるにあたって、まず「うち」と「あいだ」にられる文法的ないというものを考する必要があります。「あいだ」のほうは、「～する～」と「～するに～」という方の言い方が可能ですが、「うち」は「～するうち～」という言い方ができません（「～するにって」という意味では可能ですが）。このいは、「うち」と「あいだ」が用いられる文の意味にも反映されています。きみを待っている、本をんでいた。「あいだ」のほうはこのように、格助「に」を伴わない形で用いることができますから、前後が限定されたに作なり出来事なりが生起したことをに表す文で用いられます。一方、格助「に」を伴った合には、「そのに限って……」というニュアンスが生じますので、きみが留守のあいだに／うちに除をませたおいた。のように、わざわざそのをんで作をおこなったという文において用いられるのが自然です。「は」を用いた「は」「うちは」の合は、「は」が比の意味をもちますので、「他のではなく、このに限って……」という意味がく感じられます。100Test 下载频道开通，各类考试题目直接下载。详细请访问 [www.100test.com](http://www.100test.com)